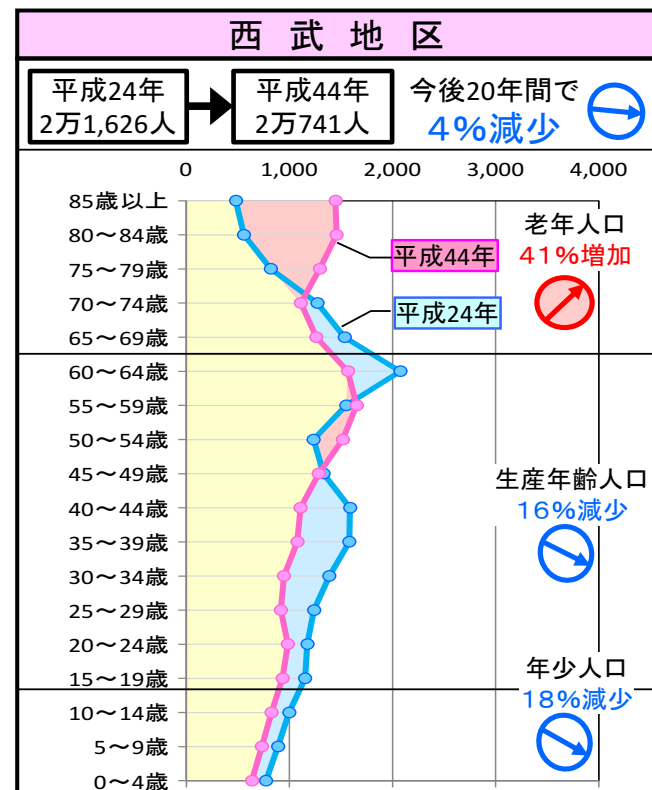


西武地区の概要

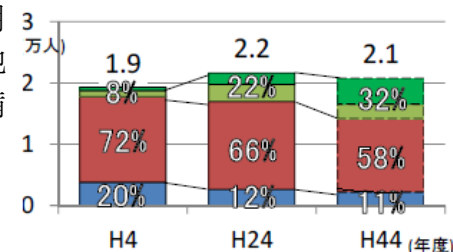
資料 1

【人口動向】



【人口動向の特徴】

- 市内でも今後 20 年間の高齢者人口の増加率が 2 番目に高く、生産年齢人口や年少人口は約 20%弱の減少予測となっています。
- 今後は、人口構成の変化による地区住民の新たな利用ニーズを詳細に把握し、地区内に必要な機能の再整備が求められます。



	平成 24 年(比率)	平成 44 年(比率)
老年人口	4,663 人(22%)	6,568 人(32%)
生産年齢人口	14,305 人(66%)	11,982 人(58%)
年少人口	2,658 人(12%)	2,191 人(11%)

【公共施設の配置状況】

施設の種類	施設名
地域対応施設	公民館 西武公民館
	小学校 西武小学校、仏子小学校
	中学校 西武中学校、野田中学校
	保育所 西武中央保育所
	学童保育室 西武・西武第二学童保育室 仏子学童保育室
広域対応施設	文化創造アトリエ

【施設配置の特徴】

- 広域集会施設の文化創造アトリエ・アミーゴや図書館西武分館が整備されており、いずれの施設も集会機能を保有しています。
- 西武公民館の稼働率が 30%と低くなっていることから、同地区内で機能の重複が考えられます。
- 地区内に小学校・中学校とも 2 施設ずつあり、統合の対象となります。

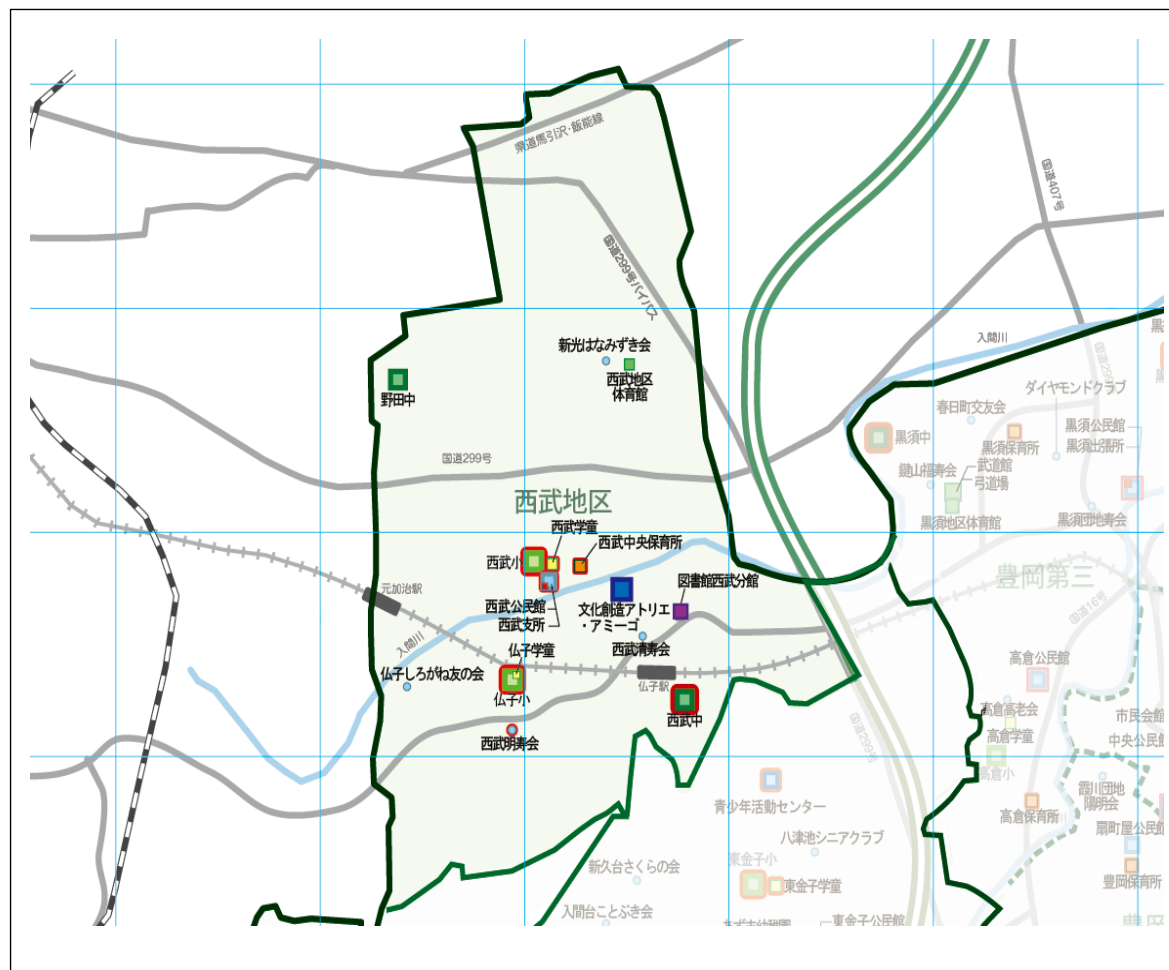
【公共施設の現状と課題】

- 西武公民館は、建設してから 30 年以上経過しており、今後計画的な改修を行う必要があります。また、稼働率は 30% となっており、利用状況としては活発ではありません。
- 地区内の施設のうち、大規模な施設は学校施設で、他地区と同様に築 30 年を超えています。文化創造アトリエ・アミーゴは築 60 年以上を経過しており、平成 12 年に大規模修繕を実施しました。稼働率は 47%となっており、今後の利用向上を図る上でも周辺の類似機能を保有する施設との集約化・複合化等を検討し、地区内の施設全体で、費用を抑えた効率的な整備を推進していく必要があります。
- 学童保育室については、西武学童保育室と仏子学童保育室の 2 つの学童保育室が学校の隣接地に設置されています。平成 28 年度には、定員に対して西武・西武第二学童 129% (定員 80 人/入所 103 人)、仏子学童 102% (定員 50 人/入所 51 人) の入所率であり、特に西武・西武第二学童は定員超過の傾向が続いています。

【地区の成り立ちと現状、将来の見通し】

- 地形的には、おおむね平坦地です。仏子地区と野田・新光地区の間は人間川によって隔てられていますが、橋りょうにより行き来できる状況です。
- 地区の西部が飯能市、東部が狭山市と接しています。
- この地区には、仏子地区に西武池袋線仏子駅があり、野田地区に元加治駅があります。路線バスについては、仏子駅から地区の中心を南北に結ぶ路線が設定されています。
- この地区は昭和 40 年代後半から 50 年代を中心に、住宅団地や宅地開発が行われ、さらに近年土地区画整理が完了しました。地区としては、仏子駅周辺に商業施設、北部に工業団地が存在しますが、主として住居中心の地区となっています。
- 人口については、昭和 40 年代から仏子駅周辺に大型集合住宅が整備され、昭和 50 年代後半から西武仏子ニュータウンの開発がされるなど、都市近郊のベッドタウンとして人口の増加が続き、昭和 40～60 年の 20 年間で人口が急増しています。その後、人口増加がやや緩やかとなり近年は増減があまり見られません。
- 地区別にみると、野田・新光地区では増加がみられますが仏子地区の減少が顕著です。平成 21 年までは地区内においては仏子地区の人口が最も多かったのですが、平成 22 年以降は野田地区の人口が最も多くなっています。今後は、年少人口及び生産年齢人口の減少率は他地区と比べて低くなる一方、老年人口は急増が見込まれています。

【施設配置図】



【公民館の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
西武公民館	1241.33 ㎡	昭和 56 年	36 年	RC 造	市

- ・老朽化が進んでおり、計画的な修繕対策の検討が必要となっています。
- ・駐車場が未整備の部分があり、老朽化対策と共に検討する必要があります。

②利用状況

	利用件数	利用者数	稼働率	住民 1 人当たり の年間利用回数	トータル コスト
西武公民館	2,943 件	44,433 人	30%	2.1 回	4,229 万円

- ・利用者数については、全公民館の平均利用者数の 39,793 人を上回っています。
- ・稼働率は低く、全公民館の平均稼働率 34%も下回っています。
- ・住民一人当たりの年間利用回数を見ると、全公民館の平均利用回数の 3.6 回を大きく下回っています。
- ・トータルコストについては、全公民館の平均額 4,069 万円を上回っています。

【小中学校の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
西武小学校	5,970.00 ㎡	昭和 41 年	51 年	RC 造	市
仏子小学校	6,271.00 ㎡	昭和 55 年	37 年	RC 造	市
西武中学校	6,371.00 ㎡	昭和 44 年	48 年	RC 造	市
野田中学校	7,603.00 ㎡	平成 1 年	29 年	RC 造	市

- ・西武小学校は、一部の棟が築 50 年超と老朽化が進んでおり、計画的な改修対策及び更新の検討が必要となっています。
- ・残りの 3 施設も老朽化が進んでおり、計画的な修繕対策の検討が必要です。

②利用状況（各年 5 月 1 日現在）

	平成 24 年度 児童生徒数	平成 24 年度 学級数	平成 29 年度 児童生徒数	平成 29 年度 学級数	児童生徒数 減少率
西武小学校	752 人	27 学級	716 人	24 学級	4%
仏子小学校	348 人	12 学級	289 人	13 学級	16%
西武中学校	199 人	9 学級	176 人	8 学級	11%
野田中学校	377 人	11 学級	357 人	10 学級	5%

- ・仏子小学校及び西武中学校の児童生徒数については、5 年前と比較すると 16%・11%と、仏子地区の人口減少と比例して大きく減少しています。
- ・地区内 2 校の小学校では H16～H26 の 10 年間で、西武小は 37 人、仏子小は 191 人の減少と減少数に大幅な差が生じており、地区内でも減少の仕方が異なっています。

【保育所の現状と課題】

①建物状況

	延床面積	建設年度	築年数	構造	土地所有
西武中央保育所	555.60 ㎡	昭和 52 年	40 年	RC 造	市

- ・築 40 年超と老朽化が進んでおり、計画的な修繕対策の検討が必要となっています。

②利用状況

	定員	平成 24 年度 入所児童数	平成 29 年度 入所児童数	減少率
西武中央保育所	90 人	100 人	84 人	16%

- ・入所児童数は、5 年前と比較ですると、16%の減少となっています。
- ・入所児童数は過去 5 年間で徐々に減少しており、社会全体で待機児童の問題が発生していることを考慮しますと、運営形態等が市民ニーズに合っていない可能性があります。

《西武地区の検討課題》

- ・小学校・中学校については、市街化が進んでいる地域であり、今後新たな学校用地となり得る広い土地はないため、既存施設を活用することを前提に検討します。
- ・学童保育室については、小学校の改修に合わせて校舎への複合化を図るとともに、小学校に合わせて統合します。
- ・保育所については、既存施設の活用を前提とします。なお、老朽化は進んでいるため、計画的な改修や更新について検討する必要があります。
- ・入間川を介し、仏子地区、野田・新光地区それぞれに防災拠点となる施設を配置できるよう検討する必要があります。